

〔I〕 下の表1は食料の自給率を、右ページの図1の色のついた都道府県は表1のA～Eの収穫量（または頭数・漁獲量）が1～5位の都道府県を示しています。これらを見て、食料に関する以下の問いに答えなさい。

表1 主要食料の自給率（％）

品目	1970年	1980年	1990年	2000年
A	106	87	100	95
B	108	104	86	53
鶏卵	97	98	98	96
C	99	97	91	82
牛乳・乳製品	89	82	78	68
D	89	81	70	53
くだもの	84	81	63	44
E	9	10	15	11
豆類	13	7	8	7

資料：食糧需給表平成13年度、食料・農業・農村白書参考統計表2002

問1 表1のA～Eはどの品目にあたりますか。次の中からそれぞれ1つ選び、記号で答えなさい。ただし図1では、「野菜」は「きゅうりの収穫量」を、「魚介類」は「海面漁獲量（海での漁獲量のうち養殖をふくまない量）」を示しています。

ア. 小麦 イ. 米 ウ. 牛肉 エ. 野菜 オ. 魚介類

問2 「米」について、以下の①～③に答えなさい。

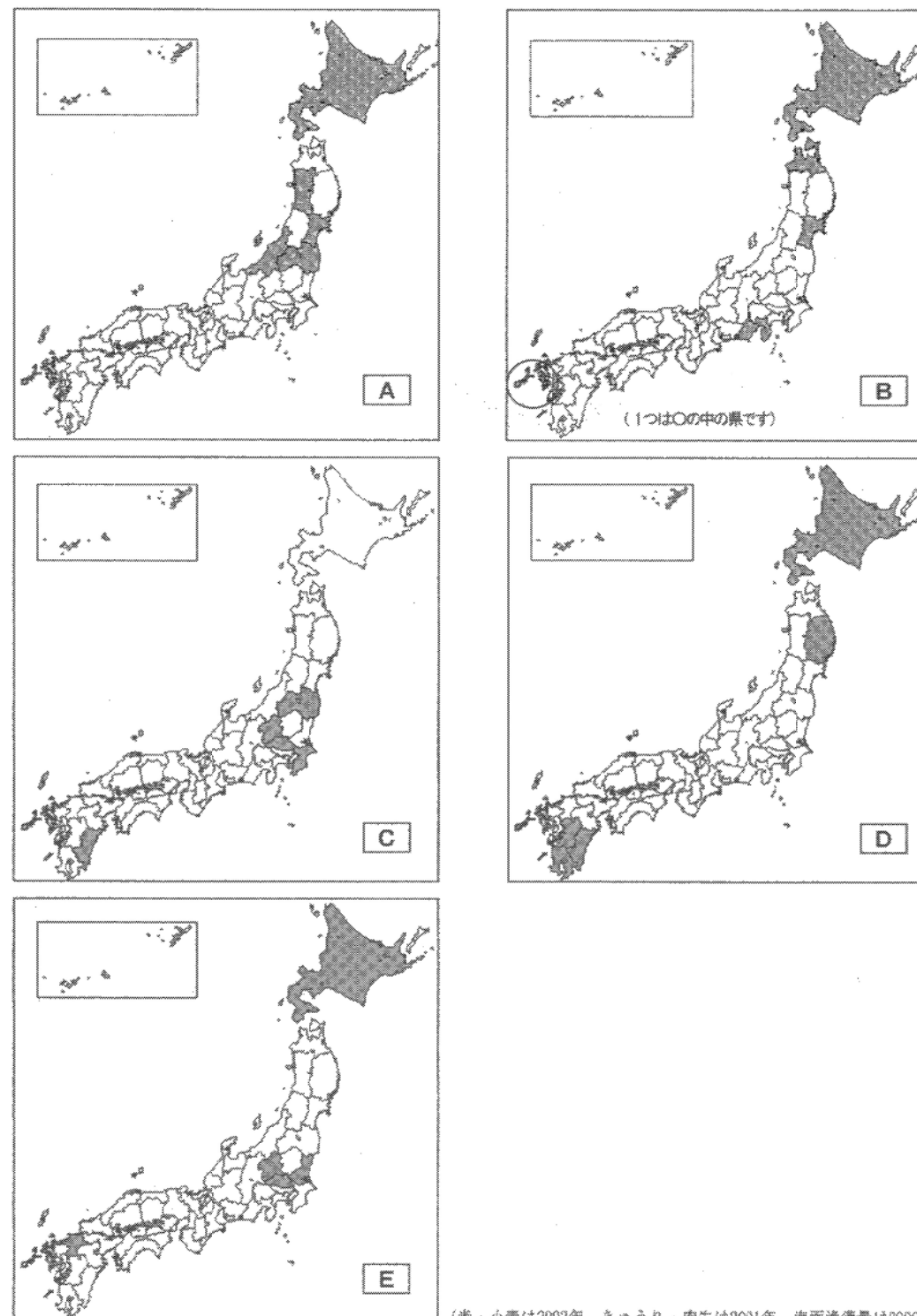
① 2004年10月23日に、日本有数の「米どころ」とされる地域で大きな地震がありました。この地域でもっとも栽培のさかんな米の品種を次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア. ササニシキ イ. コシヒカリ ウ. きらら397 エ. ひとめばれ

② ①の地震の直後である11月1日には、被害が大きかった小出町・堀之内町・湯之谷村・広神村・守門村・入広瀬村の6町村が合併し、米のトップブランド名のついた市が誕生しました。この市の名を漢字で答えなさい。

③ 近年では消費者の「米ばなれ」がすすんでいます。米作りを続けていくために、各農家はどのような工夫をしていますか。簡単に説明しなさい。

図1 食料の生産都道府県（収穫量・頭数・海面漁獲量）



（米・小麦は2002年、きゅうり・肉牛は2001年、海面漁獲量は2000年）

問3 「野菜」について、以下の①～③に答えなさい。

① 東京の消費者が手に入れるレタスについて、
図2からわかることを書きなさい。

② 図2の(あ)～(う)県の組み合わせとして正しいものを次の中から1つ選び、記号で答えなさい。

	(あ)県	(い)県	(う)県
ア	沖縄	長野	埼玉
イ	長野	香川	埼玉
ウ	長野	沖縄	茨城
エ	香川	長野	茨城

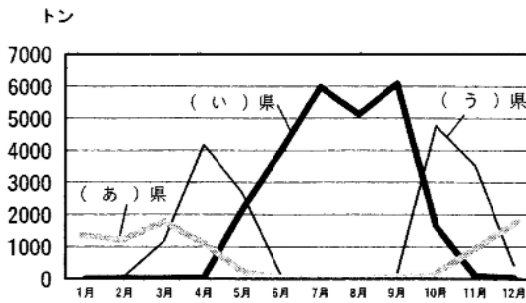
③ 図2のようなことが可能となった要因として、次の中から正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 保冷庫のついたトラックで輸送できるようになった。
- イ. 船で大量に輸送できるようになった。
- ウ. 野菜の成長を早める抑制栽培が普及した。
- エ. 政府が生産を調整するようになった。

問4 表1の「豆類」の中で、大豆はその代表ともいえます。大豆にはさまざまな利用法がありますが、大豆が主原料である調味料を1つ答えなさい。

問5 表1でみられるように、全体として食料の自給率が下がる傾向にあるのはなぜですか。簡単に説明しなさい。

図2 東京へ出荷されるレタスの量（平成15年）



資料：東京都中央卸売市場青果物流通年報

〔Ⅱ〕 次の文章を読んで、以下の問いに答えなさい。

1 昨年の11月1日に新しいお札（紙幣）が発行されましたが、もうみなさんはその新札を目にしたでしょうか。もしかしたら、お年玉でもらった人も多いかもしれませんね。

今回の新札の図柄は、千円札が **A** から **B** に、五千円札が **C** から **D** に代わりまし
2 た。1万円札は **E** のままですが、他のお札と同様にいろいろな部分に工夫がされているそうです。また、新札発行には、景
3 気をよくしようとするねらいもあるようですが、はたして結果はどのようなことでしょうか。

なお、今回の新札発行は1984年以来20年ぶりのこととなります。それ以前の図柄は、千円札が初代の総理大臣である **F**、五千円札と一万円札は十七条憲法や冠位十二階の制度を定めた聖徳太子でした。もうそのお札を目にする機会はほとんどなくなってしまいました。おそらく今まで発行されていたお札もいつかは見かけなくなって、今回発行されたこの新札が当たり前のように使われていくでしょう。そしてみなさんが大人になった時には、また新しい図柄の新札が登場することになると思います。その時、みなさんはどのような生活をしているのでしょうか。お金の価値というのは、使う人の心がけ次第でよいものにも悪いものにもなると思います。みなさんはお金の価値というものをきちんと理解し、正しく使える大人になってください。

問1 **B**・**E**・**F** にあてはまる人物の姓名を漢字で書きなさい。

問2 **A**と**D**の人物に共通することがらは何ですか。簡単に説明しなさい。

問3 **C**の人物について説明した次の文の中から正しいものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 日本人で初めてオリンピックで金メダルを受賞した。
- イ. 江戸時代に結ばれた不平等条約の改正に貢献した。
- ウ. 第二次世界大戦中、ユダヤ人のためのビザを大量に発給した。
- エ. 大正時代末期に国際連盟の事務次長を務めた。
- オ. 軍縮に貢献し、ノーベル平和賞を受賞した。

問4 下線部1について、今回のお札の図柄を決めたのはどこの行政機関（省）ですか。その名前を漢字で答えなさい。

問5 下線部2の今回の工夫は、どのようなことを主な目的としていますか。簡単に説明しなさい。

問6 下線部3について、なぜ新札が発行されると景気がよくなると考えられるのですか。その理由を説明しなさい。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。答えは特に指定がないかぎり、漢字で答えなさい。

昨年10月の新聞紙上に、唐の都があった中国西安市において、遣唐使の一員として唐へ渡り、勉学の途中で亡くなった留学生の墓誌（死者の経歴を書いたもの）が見つかったという記事がありました。墓誌には、「留学生の中国名は〈井真成〉で出身国は〈日本〉であり、国の命令によって派遣され、大変優秀であったので唐の宮廷で役人として採用されていたが、急病のため734年に36歳で亡くなった」と記されていました。

古代から鎌倉時代にかけて、日本の文化は、中国文化を積極的にとり入れてきました。そのさいに大きな役割をはたしたのが遣隋使や遣唐使などでした。当時の遣唐使は、平均十数年に一度の間隔で不定期に派遣されていましたが、〈井真成〉は、亡くなった年令からみて717年の遣唐使に19歳で参加したものと考えられています。亡くなるまで17年間も唐にいたことになります。717年の遣唐使は、都が平城京に移されてから最初の遣唐使にあたり、吉備真備や玄昉らが参加しており、乗組員を含めた総勢は557人であったそうです。

中国への使節の派遣は、近畿地方を中心とするヤマト政権（大和朝廷）が成立した5世紀ごろにさかんにおこなわれていました。その後の1世紀ほどの間は、中国への使節派遣の記録はなく、もっぱら朝鮮半島の国々との交流を通じて中国の文化を取り入れていたようです。しかし、やがて隋が中国を統一して大帝國を建てると、ヤマト政権は600年から614年まで4回にわたり遣隋使を派遣し、その後隋から唐に代わると、894年に廃止されるまで16回の遣唐使を派遣しました。派遣された人数は、5000人以上にのぼると考えられています。

このころの日本は唐の制度を取り入れる一方、仏教の力によって国家の繁栄をなしとげようと考えていました。国ごとに国分寺と国分尼寺を造り、平城京に国分寺として巨大な東大寺と大仏を造ったのはそのためでした。また、仏教を学ぶ学問僧も多数中国に渡りました。754年には、正式の僧侶の資格をさずけることができる中国の高僧が、苦難を乗り越えて来日しました。平安時代に入ると、804年の遣唐使船で中国に渡った空海と最澄によって、新しい仏教も伝えられました。

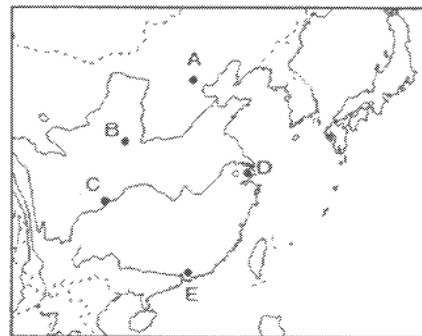
遣唐使の派遣は唐の社会が混乱したため廃止になりましたが、やがて宋が建国されると、再び中国への関心は強まり、民間の貿易が盛んに行われるようになりました。特に平清盛が政治の実権をにぎり、それまで博多で貿易を行っていた中国の貿易船を、都の近く（今の神戸港）まで導き入ると、貿易は一層さかんになりました。

源頼朝が鎌倉幕府を開き、武家の政治が始まると、幕府は京都の貴族の伝統的な文化に対抗するため、榮西や道元などが宋から持ち帰った新しい仏教やそれに関連する文化を積極的に取り入れました。そこで、鎌倉にはそれらの新しい仏教の寺院がいくつも建てられました。また、源平の戦いの時に焼かれた奈良の寺院の復興も幕府の力によって行われました。中でも東大寺は、中国に渡った経験をもつ重源や宋から来た陳和卿などによって、大陸的な雄大さと力強さをもった独特の建築物として再建されました。

問1 下線部1について、以下の①・②に答えなさい。

- ① 唐の都は当時何といましたか。
- ② ①の位置は、右の地図のどこですか。記号で答えなさい。

問2 下線部2について、この墓誌の発見は、「日本」という国名が記された最も古い資料であるという点で、また唐がその国名を認めていたという点でも注目されています。それでは「日本」という国名が用いられる前、唐はこの国を何と呼んでいましたか。漢字1字で答えなさい。



問3 下線部3について、このころの唐の影響を強く受けた文化を、何と呼びますか。名称を答えなさい。

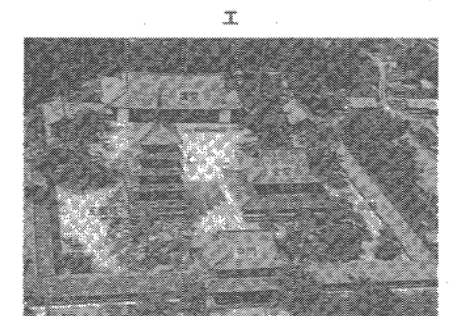
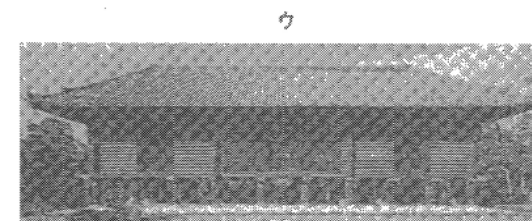
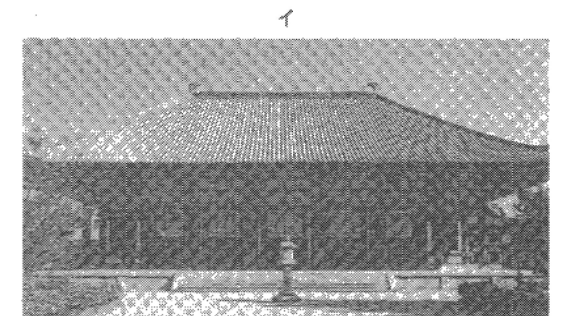
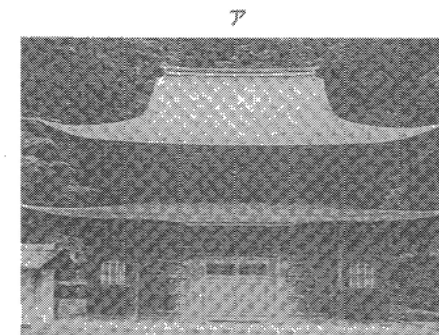
問4 下線部4について、これらの人物とともに唐に渡り、役人として仕えた人物で、〈井真成〉と同様に帰国できず、日本をなつかしんで「天の原 ふりさけみれば 春日なる 三笠の山に いでし月かも」という歌をよんだ人物は誰ですか。姓名を答えなさい。

問5 下線部5について、5世紀頃のヤマト政権のようすを説明した次の文の中から、誤っているものを1つ選び、記号で答えなさい。

- ア. 近畿地方に巨大な前方後円墳が造られた。
- イ. 中国の皇帝に国書（手紙）を送り、王の称号を求めた。
- ウ. ヤマト政権の支配は本州全域に及んでいた。
- エ. ヤマト政権の中心になっている人物（首長）は、「大王」と呼ばれていた。

問6 下線部6について、以下の①・②に答えなさい。

- ① この時期に斑鳩に建てられた寺院（現在の建築物は、570年に焼失した後に再建されたものであると考えられている）は下の写真のどれですか。1つ選び、記号で答えなさい。
- ② この寺院建築の一部の柱はギリシア建築の影響を受けているといわれていますが、それはどのような形になっていますか。説明しなさい。



問7 下線部7について、以下の①・②に答えなさい。

- ① この高僧の名前を答えなさい。
- ② ①の高僧が建てた寺院は、問6の写真のどれですか。1つ選び記号で答えなさい。

問8 下線部8について、最澄が平安京の北東の山中に建てた寺院名を答えなさい。

問9 下線部9について、遣唐使の派遣が廃止されたことが原因で、その後の日本の文化に変化がおきました。どのような変化がおきましたか。具体的な例を示して説明しなさい。

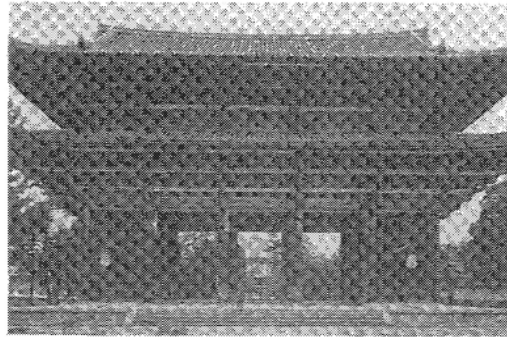
問10 下線部10について、この港を当時何と呼んでいましたか。名称を答えなさい。

問11 下線部11について、栄西や道元が伝えた新しい仏教をまとめて何と呼びますか。名称を答えなさい。

問12 下線部12について、以下の①・②に答えなさい。

① 右の写真は、その再建された建築物です。この建築物の名称を答えなさい。

② ①の建築物にある木造彫刻の名称を答えなさい。



(写真：『日本史総覧』東京法令出版)

(以下 余 白)

